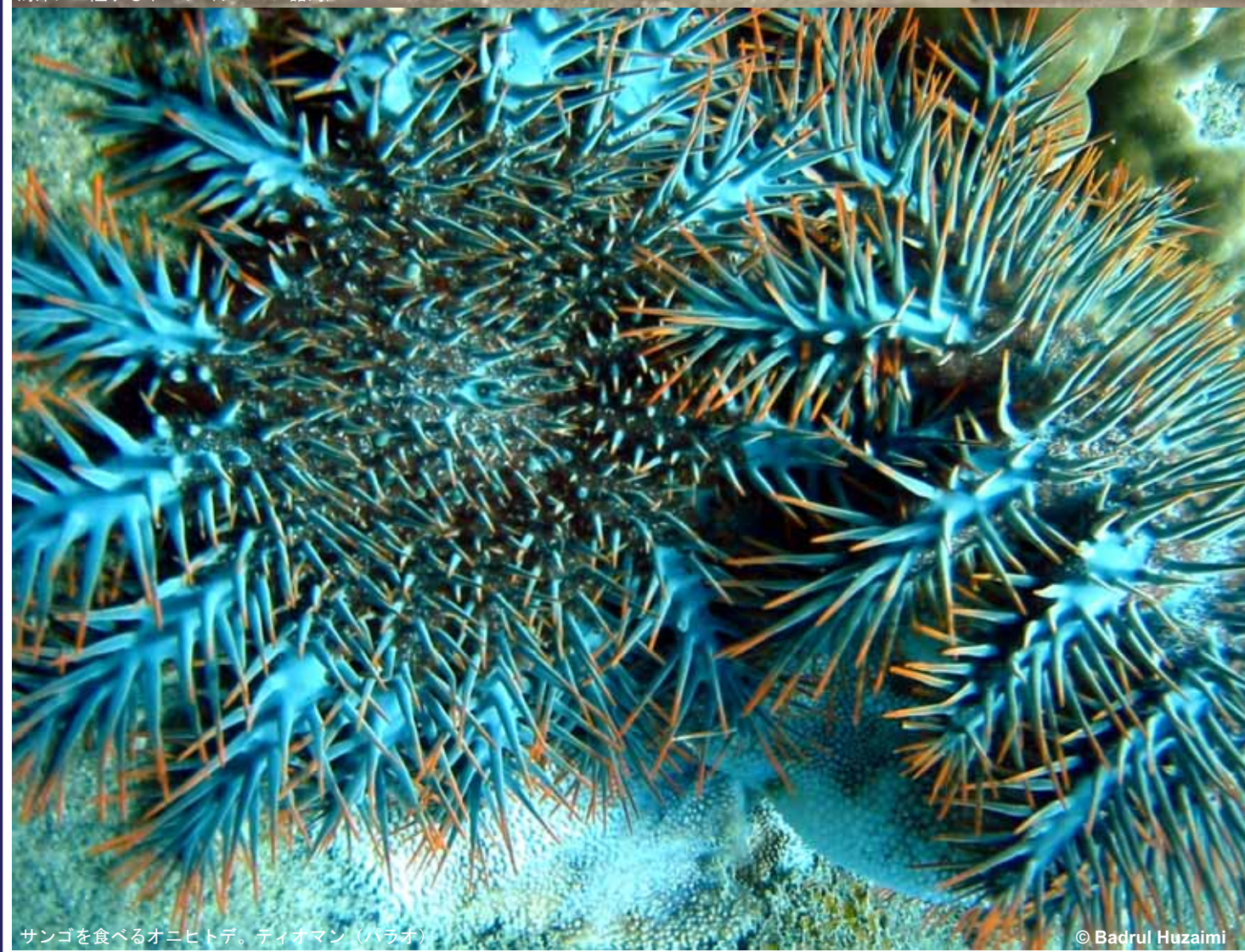




海岸に上陸するボート (ソロモン群島)



サンゴ礁の海岸で投網を使って小魚を採る女性たち



サンゴを食べるボート (ソロモン群島)



干潮で海面に出たサンゴ (グレートバリアリーフ (オーストラリア))



サンゴに群がるスズメダイの群

© yusuf yusuf

国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI) —サンゴ礁保全関係者のための国際的なフォーラム—

国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) は、サンゴ礁の危機的な状況に対応するために、日本、アメリカ、オーストラリア、フランス、イギリス、スウェーデン、フィリピン、ジャマイカの8ヶ国によって、1994年に設立されました。

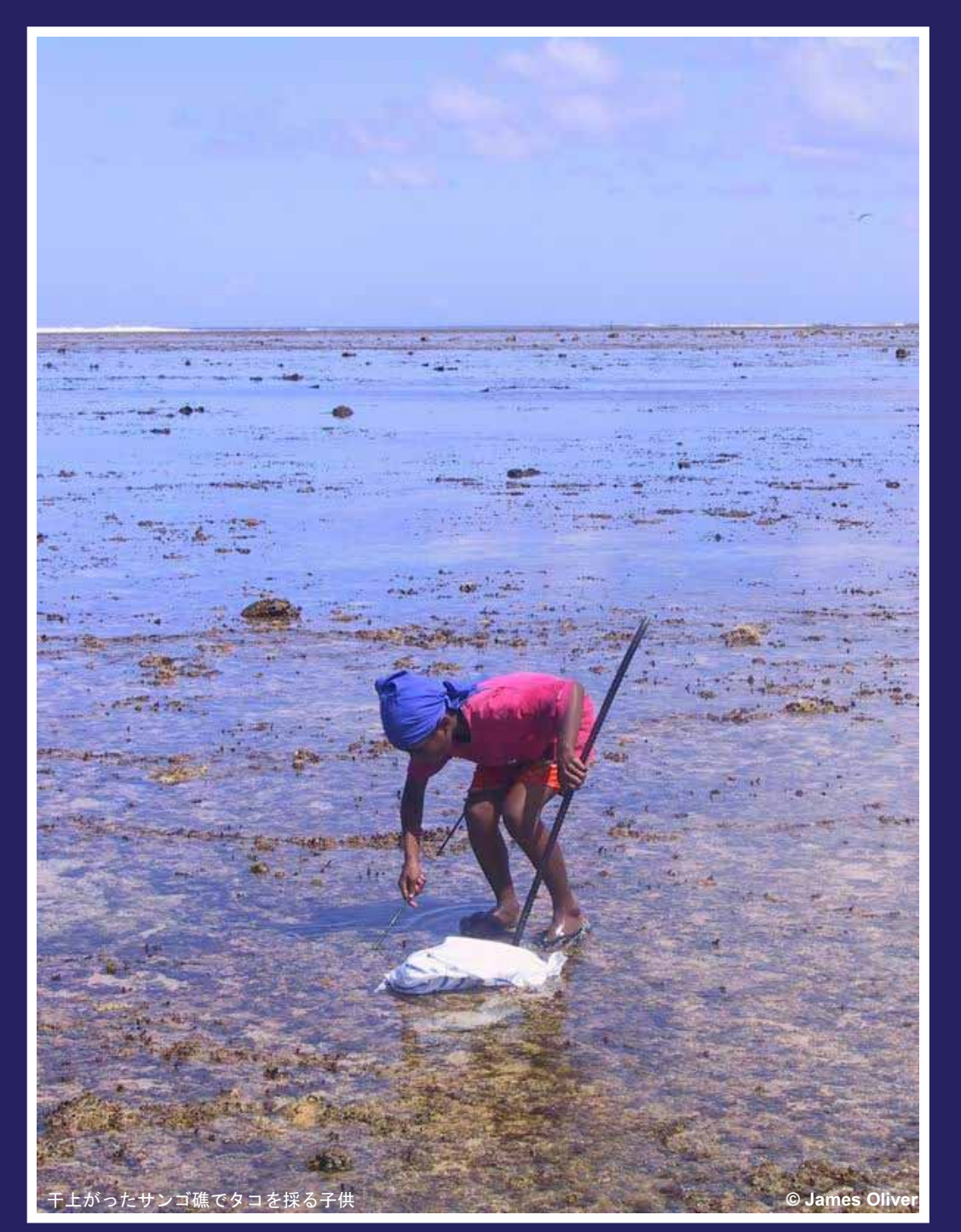
国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) は、サンゴ礁の未来について関心を持つ人々と組織による世界的なパートナーシップです。現在、約80のメンバー (各国政府、NGO、国際機関、研究機関) が対等な立場で参加しています。

国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) は、サンゴ礁とサンゴ礁に関連する生態系 (マングローブや海草など) の世界的な劣化を食い止め、それらの保全と持続可能な利用を実現することを目指しています。

国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) は、世界規模のワークショップや各地域でのワークショップを開催し、サンゴ礁を守るための戦略を策定しています。

人々のニーズを伝える

国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) は、サンゴ礁に関する途上国のニーズを国際協力の実施機関や資金提供機関に対して伝える役割を果たしています。



干上がったサンゴ礁でタコを採る干焚

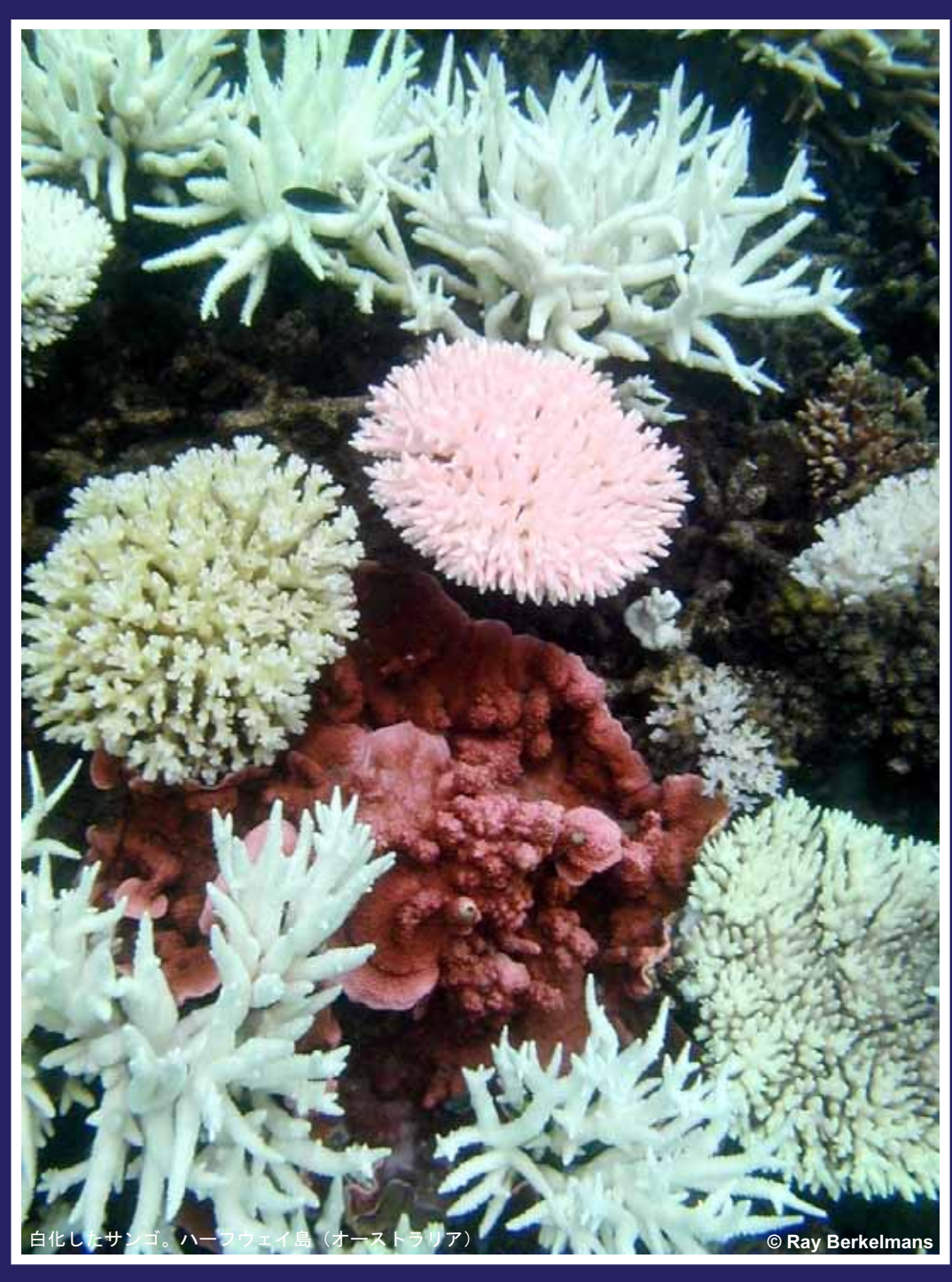
© James Oliver

写真提供: リーフベース
(<http://www.reefbase.org>)

<http://icriforum.org>

ICRI事務局

ICRIの事務局は、参加国が2年交替で実施しています。途上国の意見をその活動に反映させるため、近年は、途上国と先進国がパートナーを組んで事務局を実施しています。



白化したサンゴ (ハワイ群島 (アメリカ))

© Ray Berkelmans

調整企画委員会 (CPC)

ICRIの意志決定は、毎年1-2回開催される調整企画委員会において行われます。CPCでは、新たな課題について議論が行われる他、各国政府や関連する条約、ICRIの横断的ネットワークの方向性を決定します。